

俳人協会岐阜県支部 第二十回芭蕉の道俳句大会

事前募集句成績

令和三年五月一五日

俳人協会賞

色を消し音を消し飛驒の山眠る

柴田 恭雨（岐阜市）

岐阜県支部賞

木の瘤は木に教はりて枝打す

伊藤かおり（朝日町）

岐阜県知事賞

初蝶と思ひゐる間に見失ふ

篠田 游（羽島市）

岐阜県議会議長賞

百段の先の百段梅香る

小澤 敏（岐阜市）

岐阜県教育委員会賞

白山の風を待みて紙を干す

加納 輝美（岐阜市）

岐阜市長賞

水面ごとぐいと引き上げ蜷搔

水上れんげ（岐阜市）

岐阜市議会議長賞

田一枚隔てて話す花菜風

安田 一義（岐阜市）

岐阜市教育委員会賞

大鯉のもんどり打つも涅槃寺

遠藤 典子（下呂市）

岐阜観光コンベンション協会賞

灯点して春の障子となりにけり

蒔田多佳子（関ヶ原町）

秀逸賞

小春日や稚児のあくびの良き香り

辻 清子

不揃ひの切手貼りたる余寒かな

溝辺百合子

母に呼ばれて野遊びの終はりたる

森 瑞穂

家並より高き堤を焼きにけり

西田 拓郎

春の鴨布陣とならず漂へり

左高 宣子

寝返りをして春愁をうらがへす

飯田 正幸

亀鳴くや爪を飾るに月と星

木下 仁司

落日の波が風呼ぶ冬岬

廣瀬あや子

鳥を来よ千両一枝残しある

小島美智子

知らんとは言へぬ漢の懐手

南 久美子

良く笑ふ男の子も混じる雛の客

多和田瑠璃

竹馬や頼りがひある友とゐて

小木曾恵子

大寒の水一掬ひの重さかな

藤塚 旦子

母にだけわかる片言梅ふふむ

川上 元子

心音のはじめの一つ風光る

塚本 睦

なだらかな枯野を広げ古戦場

樋口 絹子

奴胤伊吹の風にのりにけり

早野 仁策

欠伸へは欠伸で応ふ春の昼

梅本 尚孝

草萌ゆる紙飛行機の着地点

長尾美千子

船頭の昔語りや鳥曇

松尾 一步

### 加藤かな文特選

寝返りをして春愁をうらがへす

飯田 正幸

亀鳴くや爪を飾るに月と星

木下 仁司

### 今津大天特選

木の瘤は木に教はりて枝打す

伊藤かおり

欠伸へは欠伸で応ふ春の昼

梅本 尚孝

### 大野鶴士特選

大寒の水一掬ひの重さかな

藤塚 旦子

心音のはじめの一つ風光る

塚本 睦

初蝶と思ひる間に見失ふ

篠田 游

### 荻原正三特選

色を消し音を消し飛驒の山眠る

柴田 恭雨

初蝶と思ひる間に見失ふ

篠田 游

水面ごとぐいと引き上げ蜩搔

水上れんげ

### 寺田好子特選

母にだけわかる片言梅ふふむ

川上 元子

白山の風を待みて紙を干す  
草萌ゆる紙飛行機の着地点

加納 輝美

富田澄江特選

知らんとは言へぬ漢の懐手

南 久美子

百段の先の百段梅香る

小澤 敏

船頭の昔語りや鳥曇

松尾 一步

長野美代子特選

落日の波が風呼ぶ冬岬

廣瀬あや子

色を消し音を消し飛驒の山眠る

柴田 恭雨

大鯉のもんどり打つも涅槃寺

遠藤 典子

岬雪夫特選

灯点して春の障子となりにつけり

蒔田多佳子

奴胤伊吹の風にのりにけり

早野 仁策

森崎義道特選

鳥を来よ千両一枝残しある

小島美智子

田一枚隔てて話す花菜風

安田 一義

矢田邦子特選

夕日いま大洋の上さくら散る

篠田 游

なだらかな枯野を広げ古戦場

樋口 絹子

小春日や稚児のあくびの良き香り

辻 清子

横田義男特選

良く笑ふ男の子も混じる雛の客

多和田瑠璃

竹馬や頼りがひある友のゐて

小木曾恵子

不揃ひの切手貼りたる余寒かな

溝辺百合子